学校番号	T0203

令和８年度　理科

教科	理科	科目	生物基礎	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	高校生物基礎　visual（実教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

科学と私達の生活は密接な関わりをもっています。生物は科学の中でも私達ヒトをはじめとする生物全般について学ぶ教科です。細胞や DNA の性質等の分子生物学的な知識をみにつけるとともに、私たちヒトの体の中でどのようなことが起こっているか、生物と環境がつくる生態系がどのようなものであるかについて学びます。また、身近な生物や、生物に関するニュース等を題材にして、生物学について幅広く学び、興味関心をもって欲しいと考えています。また、授業では、実験や実習を多く取り入れることで、実感をもって理解できるようにしています。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
生物の特徴や遺伝子の働き、生態系に関する基本的な知識や概念を理解する。
【思考力、判断力、表現力等】
観察，実験などを通して、科学的な思考力をみにつける。
【学びに向かう力、人間性等】
生物学が日常生活や社会とどのように関係しているかを、主体的に探究しようとする態度をみにつける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	授業で扱った内容を理解し、身の回りで起こる生命現象と結びつけることができる。 実験に関する基礎的な知識・技能を身に着けている。	生命に関して疑問を抱き、その内容理解に向けて行動できる。 探究の結果や自分の考えを簡潔にわかりやすく表現することができる。	身の回りの生命現象に興味を持ち、見通しを持ったり、振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	生物の特徴	生物の多様性と共通性 生物とエネルギー	a:生物は多様でありながら、共通性をもつことを理解する。細胞がもつ構造とその働きについて理解し、生命活動に必要となるエネルギーの利用とその合成について理解する。 b:多様性と共通性の観点から、細胞の構造や代謝について、特徴をまとめる。 c:多様性と共通性に関心をもち,科学的に探究しようとする態度を身に付けている。	定期考査 小テスト	授業プリント 定期考査	提出物 実習の様子
	遺伝子とその働き	遺伝情報とDNA 遺伝情報とタンパク質の合成	a:DNAの構造と遺伝子の働きについて理解する。 b:DNAの構造と関連付けてDNAの複製方法と遺伝情報の発現について論理的に説明できる。 c: DNAの構造や働きに関心をもち,科学的に探究しようとする態度を身に付けている。	定期考査 小テスト	授業プリント 定期考査	提出物 実習の様子
後期	ヒトとからだの調節	体内環境 体内環境の維持の仕組み 免疫	a:恒常性の概念について理解するとともに、様々な器官や細胞、ホルモンの働きによって恒常性が生み出されていることを理解する。 b:自律神経系とホルモンが共同して血統濃度を維持する仕組みや様々な白血球が関与する免疫の仕組みについて論理的に説明できる。 c:恒常性の仕組みに関心をもち,科学的に探究しようとする態度を身に付けている。	定期考査 小テスト	授業プリント 定期考査	提出物 実習の様子

	生物の多様性と生態系	植生と遷移 植生とバイオーム 生態系と生物の多様性 生態系のバランスと保全	a:植生や遷移バイオームについて理解するとともに、世界でどのようなバイオームが成立しているかを理解する。 b: バイオームの分布と気温や降水量が対応することを理解し、環境条件によってどのようなバイオームが成立するかを考察する。 c:バイオームについて関心をもち，科学的に探究しようとする態度を身に付けている。	定期考査 小テスト	授業プリント 定期考査	提出物 実習の様子

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度